

## 令和3年度 松山北高等学校 入学式

松山城の城山や城北の地に色鮮やかな花が咲き誇り、新緑の若葉がまぶしい今日の佳き日に、御来賓の皆様のお臨席を賜り、令和3年度の入学式をこのように挙げていただけますことは、在校生並びに教職員一同の大きな喜びでございます。また、御多忙の中、御臨席を賜りました皆様には、心より御礼申し上げます。

ただ今入学を許可しました360名の新入生の皆さん、そして保護者の皆様、本当におめでとうございます。在校生・教職員を代表いたしましてあらためてお祝いを申し上げますとともに、心から歓迎いたします。

松山北高校は、明治33年の北予中学校として創立されて以来、120年の歴史を刻んできた伝統校であり、121年目となる今年は、未来に向かって新たな歴史を刻む第一歩となる年があります。これまで本校で学び、巣立っていかれた卒業生は、4万人を超え、県内はもとより全国各地の様々な分野で活躍し、大きな功績を残され、母校の名を高めておられます。伝統ある本校で、皆さんが仲間とともに学び合い、高め合うことができることを誇りに持つとともに、本校に対する愛校心が日々深まることを願っています。

さて、高校生活をスタートする皆さんは、今、大きな夢と期待、楽しみ、そして少しの不安を抱きながらその席に座っていることでしょうか。そうした皆さんに松山北高校の生徒として自覚を持ち、自らの可能性を伸ばすために心に留めてもらいたいことをお話しします。

まず、本校で創立以来、長く受け継がれてきた校風は、「質実剛健」と「清楚」であります。松山北高校生らしきとは、どうあるべきか、この言葉を自らに問いかけ、理解し、行動できることを期待しています。また、本校には「文武心」という素晴らしい校訓があります。三道三立の精神の下、勉強と部活動、または自分の興味関心がある分野の活動を両立させながら、心身ともに大きく成長できる高校生活で「感謝」、「謙虚さ」、「尊敬」など、「心」を磨き、「豊かな心」を持った人になるために、頑丈な土台を作ってほしいと思います。

次に、本校は、4代校長の秋山好古先生が登場する小説「坂の上の雲」にゆかりのある学校です。目の前にのぼってゆく坂道があり、仰ぎ見る青い天の中に、一朵の白い雲が輝いている。この小説はその白い雲が、皆さんの目標や夢であるなら、その目標を実現させるため、厳しくても諦めないで前に歩いていくこと、挑戦することの大切さをテーマにした物語です。松山北高校生である皆さんは「坂の上の雲」のメッセージをより身近な立場で、自分なりに解釈してもらいたいと思います。そして、自分の目標や夢に向かって、出会った仲間の良さを互いに認め合いながら、自分でチャンスをみつけて、大いにチャレンジする高校生活にしてもらいたいと願っています。お互いに尊敬し合える仲間は、卒業後も一生つき合える良き友になれるでしょう。

最後になりましたが、保護者の皆様に申し上げます。将来性豊かなお子様を育ててこられ、本日より本校にお預けいただきまして、改めて感謝申し上げます。お子様は、これからそれぞれ自立への道を一步一步踏み出すこととなりますが、3年後には、社会に貢献できる素晴らしい若者として、羽ばたいていけるよう、教職員一同、全力を尽くす覚悟であります。ここに改めて本校教育活動に御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和3年4月8日  
愛媛県立松山北高等学校長 友澤義弘